

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 24 年 9 月分①)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 10
3. 調査結果の概要	I - 11

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 9 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 24 年 9 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日～30日	通年連続

(2) 水質

①一般項目 表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月4日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(1) 表-1(3)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	9月1日~30日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	9月4,11,18,25日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	9月4日	1回/月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2) 表-1(4)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p>	<p>—</p>	<p>放流水、内水</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>護岸外周</p> <p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>	<p>—</p>	<p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

②-2 処分場周辺 表-1(5)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

(3) 底質

①一般項目 表-1(6)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回／年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺) 表1-(7)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<ul style="list-style-type: none"> ●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位 	1点(表層土) 【15】		2回/年 (8月、2月)
<ul style="list-style-type: none"> ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機磷 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 		—	

(4)騒音・低周波空気振動（図-1(1)参照） 表-1(8)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回／年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5)悪臭 表-1(9)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	9月13日	2回／年 (8月、9月)

(6)陸域生態系(鳥類) 表-1(10)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	実施年に該当せず	4回／年(2年おきに実施) (5月、6月、8月、2月)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設 表-1(11)

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地 : 4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 : 3点 【No.A、B、C】	—	4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 : 2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	—	2回/年 (6月、8月)

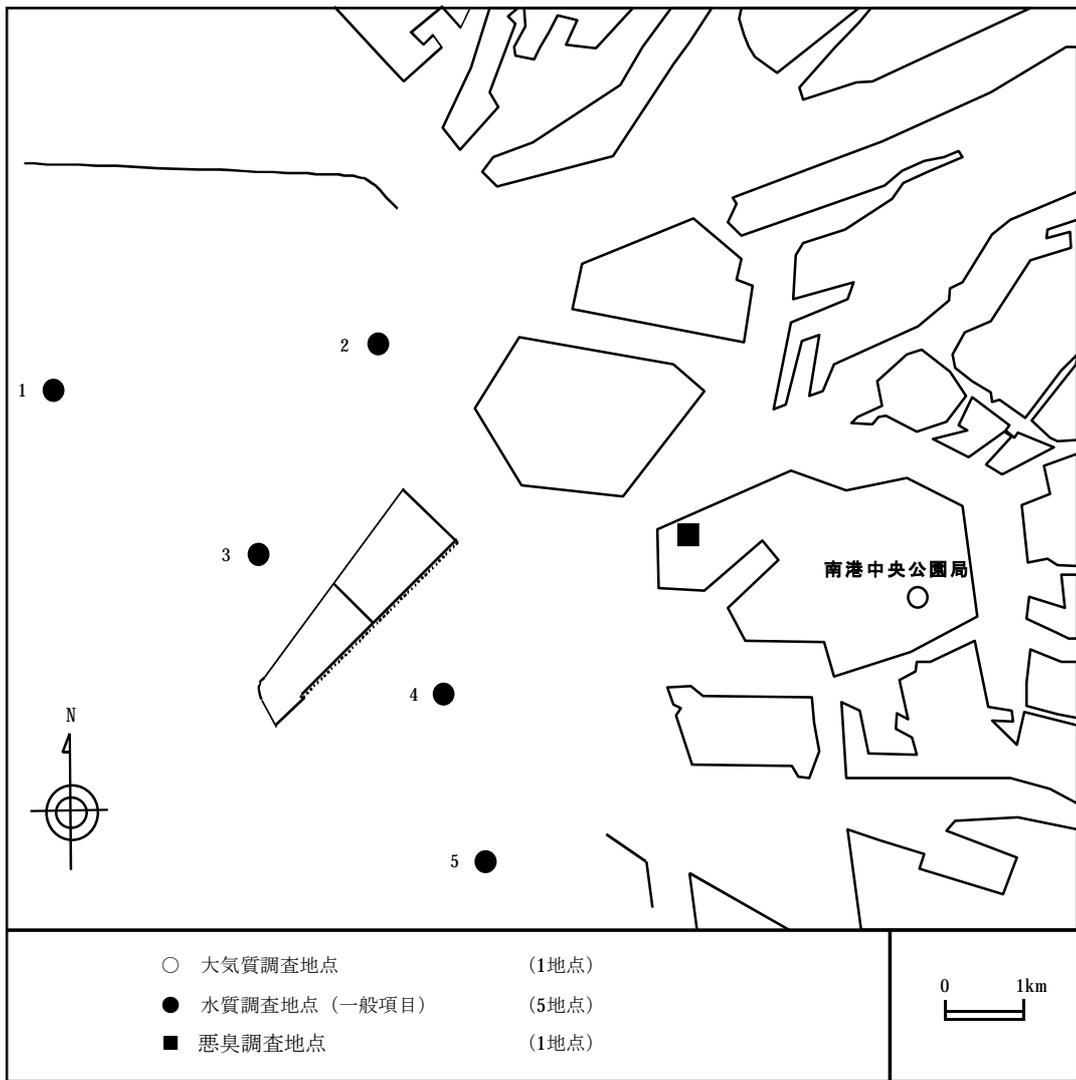


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)、悪臭の調査地点(平成24年9月)

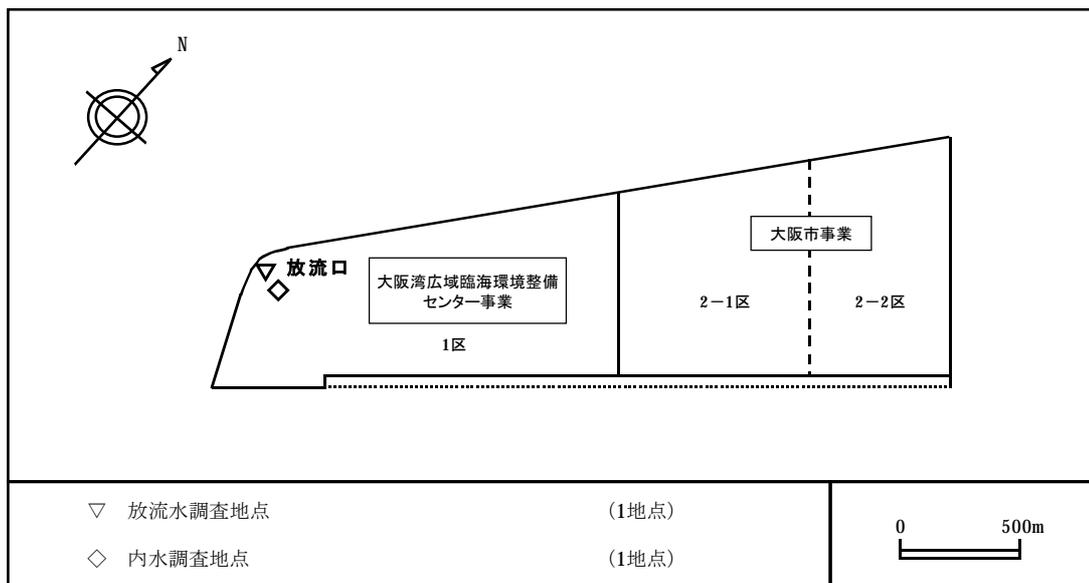
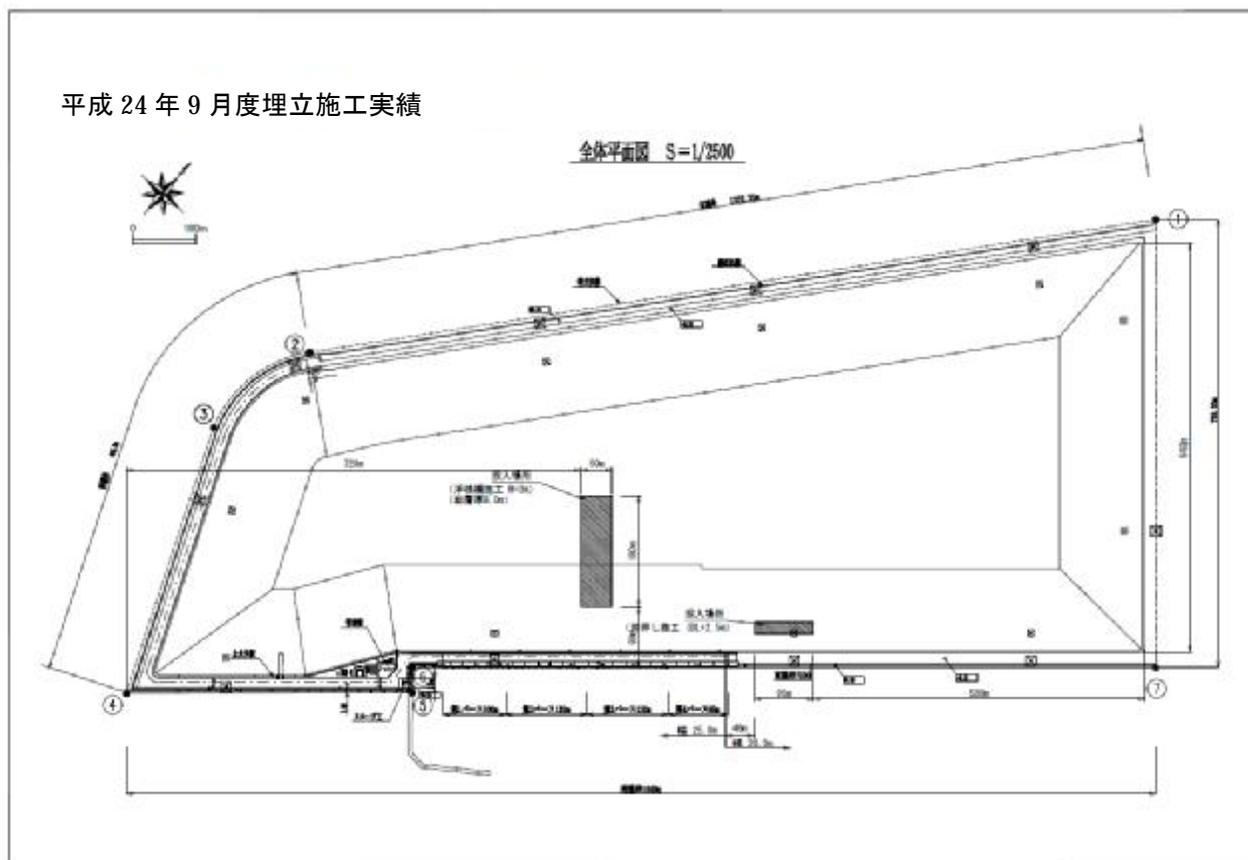


図-1(2) 水質の調査地点(埋立中:放流水、内水)(平成24年9月)

2. 工事の実施状況

平成 24 年 9 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,863,324	13.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 9 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.010ppm、1時間値の最高値は 0.019ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.021ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.029ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.027mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.048mg/m³、1時間値の最高値は 0.098mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4～8.5、下層で 7.8～8.0 であり、上層では全ての地点において環境基準値の上限値を上回っており、下層では全ての地点において環境基準値の範囲内であった。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.4)、調査地点 3 (8.5)、調査地点 4 (8.4)、調査地点 5 (8.4) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 7.7～8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.2～5.5mg/L、下層で 1.6～2.1mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (5.5mg/L)、調査地点 2 (5.1mg/L)、調査地点 3 (4.2mg/L)、調査地点 4 (4.8mg/L)、調査地点 5 (4.9mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 3、調査地点 4 及び調査地点 5 はこの範囲内にあるため、本事業の影響によ

るものではないと考えられる。また、調査地点 1 及び調査地点 2 ではこの範囲を上回っていたものの概ね同程度であり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.0~9.3mg/L、下層で 2.4~4.7mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての地点で環境基準値を下回った。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (2.5mg/L)、調査地点 2 (3.6mg/L)、調査地点 3 (4.7mg/L)、調査地点 4 (2.4mg/L)、調査地点 5 (3.2mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、下層で 0.6~11mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.50~0.86mg/L、下層で 0.28~0.51mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.86mg/L)、調査地点 5 (0.63mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、0.46~2.1mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.056~0.095mg/L、下層で 0.051~0.11mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.056mg/L)、調査地点 2 (0.093mg/L)、調査地点 3 (0.065mg/L)、調査地点 4 (0.095mg/L)、調査地点 5 (0.085mg/L) 下層における調査地点 1 (0.11mg/L)、調査地点 2 (0.084mg/L)、調査地点 3 (0.051mg/L)、調査地点 4 (0.094mg/L)、調査地点 5 (0.078mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層において 0.021~0.15mg/L、下層において 0.020~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2~6 度(カリン)、下層で<1~2 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 3~9mg/L、下層で<1~2mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 23～33 $\mu\text{g/L}$ の範囲であった。下層で <1～2 $\mu\text{g/L}$ であった。

②-1 放流水及び内水 [水質様式第 6～11 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.3～0.5 度(カリン) (平均値 0.4 度(カリン)) の範囲であった。

水温は、22.8～29.1℃ (平均値 27.1℃) の範囲であった。

pH は、7.6～8.4 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、3.9～4.3mg/L (平均値 4.1mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、8.3～10mg/L (平均値 9.1mg/L) であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、<1～1.6mg/L (平均値 1.3mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、全て <1mg/L (平均値 <1mg/L) であった。

pH は、7.7 であり、放流水の基準値及び管理目標値の範囲内であった。

COD は、11mg/L であり、放流水の基準値及び管理目標値を下回っていた。

T-N は、2.4mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

・内水

SS は、3.8～5.5mg/L (平均値 4.8mg/L) の範囲であった。

FSS は、1.1～2.0mg/L (平均値 1.7mg/L) の範囲であった。

pH は 8.6、COD は 16mg/L、T-N は 2.5mg/L であった。

②-2 処分場周辺

9 月は実施せず。

(3) 底質

9月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

9月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書（平成24年9月分②）で報告する。

(6) 陸域生態系（鳥類）

今年度は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

9月は実施せず。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2)水質

水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1) 水質

水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以上	50mg/L 以下
	全窒素 (T-N)	120mg/L (日間平均 60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	全燐 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L 以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L 以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000 個/cm ³ 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋
2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 悪臭

項目	基準値
臭気指数	敷地境界線における規制基準：10 規制地域：大阪市の区域 ^{注1)} 、堺市の区域 ^{注2)} (泉大津市については、指導指針値 ^{注3)} の取り扱いである。)

注1：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；大阪市（平成18年1月告示）

注2：悪臭防止法第3条及び第4条の規定に基づく規制地域及び規制基準；堺市（平成19年11月告示）

注3：泉大津市悪臭公害防止指導要綱；泉大津市（昭和59年3月公布）

※ なお、大阪府の大気環境に関する環境保全目標では、悪臭については「大部分の地域住民が日常生活において感知しない程度」となっている。

3. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目		区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
			最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—	
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)	
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)	
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8	
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9	
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)	
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)	
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)	
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)	

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75 値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表[平成24年9月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	714
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	708
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	27
	日平均値が0.10ng/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	668
	1時間値が0.20ng/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (土)	0.003	0.005
	2 (日)	0.005	0.014
	3 (月)	0.004	0.005
	4 (火)	0.005	0.009
	5 (水)	0.004	0.006
	6 (木)	0.006	0.009
	7 (金)	0.010	0.019
	8 (土)	0.009	0.014
	9 (日)	0.007	0.010
	10 (月)	0.005	0.008
別	11 (火)	0.005	0.008
	12 (水)	0.006	0.010
	13 (木)	0.006	0.008
	14 (金)	0.004	0.007
	15 (土)	0.005	0.007
	16 (日)	0.002	0.004
	17 (月)	0.002	0.006
	18 (火)	0.001	0.002
	19 (水)	0.005	0.011
	20 (木)	0.006	0.010
値	21 (金)	0.005	0.007
	22 (土)	0.006	0.010
	23 (日)	0.003	0.008
	24 (月)	0.005	0.008
	25 (火)	0.005	0.010
	26 (水)	0.005	0.009
	27 (木)	0.006	0.014
	28 (金)	0.006	0.011
	29 (土)	0.007	0.012
	30 (日)	0.003	0.004
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		714	
月 平 均 値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.003	0.012
	2 (日)	0.002	0.006
	3 (月)	0.004	0.020
	4 (火)	0.006	0.032
	5 (水)	0.007	0.038
	6 (木)	0.008	0.039
	7 (金)	(0.010)	(0.035)
	8 (土)	0.005	0.029
	9 (日)	0.001	0.004
	10 (月)	0.009	0.039
別	11 (火)	0.012	0.048
	12 (水)	0.003	0.012
	13 (木)	0.005	0.017
	14 (金)	0.016	0.053
	15 (土)	0.008	0.021
	16 (日)	0.001	0.004
	17 (月)	0.002	0.004
	18 (火)	0.020	0.060
	19 (水)	0.004	0.038
	20 (木)	0.004	0.030
値	21 (金)	0.003	0.016
	22 (土)	0.001	0.006
	23 (日)	0.000	0.001
	24 (月)	0.003	0.014
	25 (火)	0.007	0.043
	26 (水)	0.007	0.042
	27 (木)	0.005	0.016
	28 (金)	0.005	0.028
	29 (土)	0.003	0.026
	30 (日)	0.000	0.001
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		708	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.020	
1時間値の最高値 (ppm)		0.060	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (土)	0.015	0.023
	2 (日)	0.015	0.022
	3 (月)	0.019	0.031
	4 (火)	0.019	0.032
	5 (水)	0.015	0.026
	6 (木)	0.025	0.040
	7 (金)	(0.034)	(0.046)
	8 (土)	0.020	0.035
	9 (日)	0.012	0.023
	10 (月)	0.019	0.034
別	11 (火)	0.022	0.035
	12 (水)	0.027	0.041
	13 (木)	0.026	0.042
	14 (金)	0.028	0.042
	15 (土)	0.026	0.038
	16 (日)	0.008	0.017
	17 (月)	0.009	0.014
	18 (火)	0.023	0.035
	19 (水)	0.020	0.034
	20 (木)	0.029	0.046
値	21 (金)	0.024	0.041
	22 (土)	0.016	0.029
	23 (日)	0.010	0.014
	24 (月)	0.021	0.041
	25 (火)	0.023	0.040
	26 (水)	0.024	0.043
	27 (木)	0.026	0.042
	28 (金)	0.028	0.049
	29 (土)	0.028	0.048
	30 (日)	0.011	0.026
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		708	
月平均値 (ppm)		0.021	
日平均値の最高値 (ppm)		0.029	
1時間値の最高値 (ppm)		0.049	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO2)測定結果[平成24年9月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	N02/ (NO+N02) (%)	
日	1 (土)	0.017	83.3	0.027
	2 (日)	0.016	90.7	0.023
	3 (月)	0.023	82.8	0.047
	4 (火)	0.026	75.4	0.064
	5 (水)	0.022	68.8	0.060
	6 (木)	0.033	75.7	0.069
	7 (金)	(0.044)	-	(0.071)
	8 (土)	0.026	78.9	0.062
	9 (日)	0.012	92.6	0.024
	10 (月)	0.028	66.9	0.072
別	11 (火)	0.034	64.8	0.076
	12 (水)	0.030	89.2	0.050
	13 (木)	0.031	83.6	0.059
	14 (金)	0.044	63.7	0.095
	15 (土)	0.033	77.2	0.049
	16 (日)	0.009	91.7	0.018
	17 (月)	0.011	85.5	0.018
	18 (火)	0.043	53.8	0.095
	19 (水)	0.024	82.5	0.072
	20 (木)	0.033	87.3	0.075
値	21 (金)	0.027	88.8	0.054
	22 (土)	0.017	96.2	0.035
	23 (日)	0.010	98.7	0.014
	24 (月)	0.025	86.8	0.055
	25 (火)	0.030	76.8	0.083
	26 (水)	0.031	76.5	0.083
	27 (木)	0.031	83.6	0.054
	28 (金)	0.033	85.4	0.066
	29 (土)	0.032	89.3	0.067
	30 (日)	0.011	99.2	0.026
有効測定日数 (日)		29		
測定時間 (時間)		708		
月平均値 (ppm)		0.026		
日平均値の最高値 (ppm)		0.044		
1時間値の最高値 (ppm)		0.095		
月平均値 N02/(NO+N02) (%)		79.2		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. N02/(NO+N02)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値N02/(NO+N02)

$$= \frac{\text{(NO及びN02が同時測定されている時間のN02濃度の日(月)間にわたる総和)}}{\text{(NO及びN02が同時測定されている時間のNO+N02濃度の日(月)間にわたる総和)}}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果[平成24年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (土)	(0.019)	(0.037)
	2 (日)	0.018	0.030
	3 (月)	(0.016)	(0.018)
	4 (火)	(0.028)	(0.043)
	5 (水)	0.027	0.047
	6 (木)	0.030	0.040
	7 (金)	0.035	0.049
	8 (土)	0.035	0.057
	9 (日)	0.023	0.038
	10 (月)	0.029	0.038
別	11 (火)	0.020	0.032
	12 (水)	0.022	0.039
	13 (木)	0.038	0.050
	14 (金)	0.038	0.049
	15 (土)	0.030	0.043
	16 (日)	0.020	0.033
	17 (月)	0.018	0.025
	18 (火)	0.019	0.030
	19 (水)	0.034	0.050
	20 (木)	0.037	0.060
値	21 (金)	0.034	0.045
	22 (土)	0.032	0.046
	23 (日)	0.024	0.038
	24 (月)	0.017	0.034
	25 (火)	0.015	0.032
	26 (水)	0.009	0.021
	27 (木)	0.020	0.031
	28 (金)	0.026	0.098
	29 (土)	0.048	0.065
	30 (日)	0.032	0.081
有効測定日数 (日)		27	
測定時間 (時間)		668	
月平均値 (mg/m ³)		0.027	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.048	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.098	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔平成24年9月分〕

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (土)	1.0	1.7	ESE, NNW, WSW	WSW
	2 (日)	1.0	2.5	ENE	E
	3 (月)	1.2	2.5	SW	SW
	4 (火)	1.0	1.6	W	W
	5 (水)	1.4	2.6	WSW	WSW
	6 (木)	0.9	2.0	WSW	WSW
	7 (金)	1.0	2.6	NNW	SE
	8 (土)	1.0	1.7	ESE	ESE
	9 (日)	1.2	2.4	W	ESE
	10 (月)	1.0	2.3	WSW	ESE
別	11 (火)	1.0	2.6	NNW	NNW, N
	12 (水)	1.1	2.5	W	W
	13 (木)	1.1	2.4	WSW	W
	14 (金)	1.0	4.1	SE	ESE
	15 (土)	1.0	3.2	S	NNE
	16 (日)	2.0	3.3	ESE	ESE
	17 (月)	2.1	4.4	SE	E
	18 (火)	0.9	1.9	ESE	ESE
	19 (水)	1.3	2.2	W, W	W
	20 (木)	1.0	2.9	WSW	WSW
値	21 (金)	1.1	2.1	SW, W	ESE, WSW
	22 (土)	0.9	1.9	SW	SW, WSW, NNW
	23 (日)	0.9	1.9	NNW	N
	24 (月)	1.0	2.0	NNW	NNW
	25 (火)	1.2	3.7	NNW	NNW
	26 (水)	1.4	2.5	NNW	ENE, N
	27 (木)	1.1	2.8	NNW	N
	28 (金)	0.9	2.0	WSW, SW	WSW
	29 (土)	0.9	1.3	WSW, W	ESE, W
	30 (日)	2.2	7.6	N	N
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		1.2			
月最大風速 (m/s)		7.6			
月最多風向 (16方位)		ESE			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年9月分]

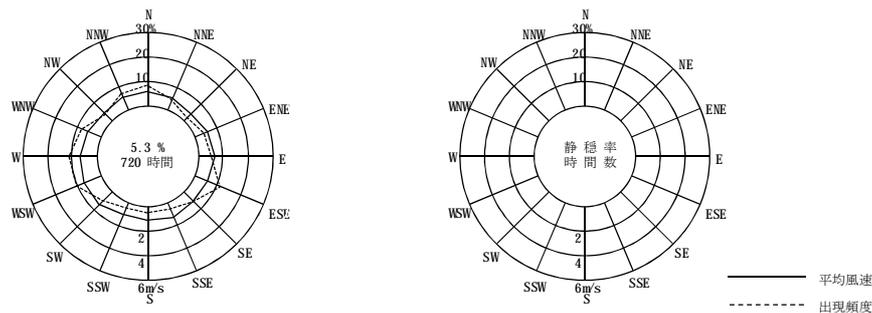
方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	35	17	32	40	82	39	19	17	15	37	73	79	58	27	51	61	38	720
頻度 (%)	4.9	2.4	4.4	5.6	11.4	5.4	2.6	2.4	2.1	5.1	10.1	11.0	8.1	3.8	7.1	8.5	5.3	-
平均風速 (m/s)	1.1	0.9	1.2	1.4	1.2	1.1	1.3	1.1	1.0	1.4	1.4	1.3	1.1	0.8	1.1	1.2	0.3	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年9月分]

調査点 項目		調査点					最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		9:30	9:05	9:50	10:25	10:10	—	—
透明度	[m]	2.7	1.0	2.0	0.8	1.5	0.8 ~ 2.7	1.6
水温	[°C]	28.1	28.3	28.4	28.3	28.6	28.1 ~ 28.6	28.3
		26.6	27.0	27.5	26.9	27.1	26.6 ~ 27.5	27.0
塩分	[—]	25.8	23.9	26.0	24.5	25.2	23.9 ~ 26.0	25.1
		31.1	31.1	31.1	31.2	31.3	31.1 ~ 31.3	31.2
濁度	[度(カリン)]	2	3	2	6	3	2 ~ 6	3
		2	2	<1	2	1	<1 ~ 2	2
浮遊物質量 (SS)	[mg/L]	4	6	3	9	6	3 ~ 9	6
		2	1	<1	2	1	<1 ~ 2	1
水素イオン濃度 (pH)	[—]	8.5	8.4	8.5	8.4	8.4	8.4 ~ 8.5	-
		7.8	7.9	8.0	7.8	7.9	7.8 ~ 8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	5.5	5.1	4.2	4.8	4.9	4.2 ~ 5.5	4.9
		2.1	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6 ~ 2.1	1.8
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.3	8.0	8.0	7.0	8.5	7.0 ~ 9.3	8.2
	飽和度 [%]	138	118	119	103	126	103 ~ 138	121
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.59	0.86	0.50	0.60	0.63	0.50 ~ 0.86	0.64
		0.51	0.41	0.28	0.44	0.37	0.28 ~ 0.51	0.40
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.056	0.093	0.065	0.095	0.085	0.056 ~ 0.095	0.079
		0.11	0.084	0.051	0.094	0.078	0.051 ~ 0.11	0.083
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	26	33	23	26	29	23 ~ 33	27
		1	2	1	1	<1	<1 ~ 2	1

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

水質様式第 6 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 24年 9 月分]

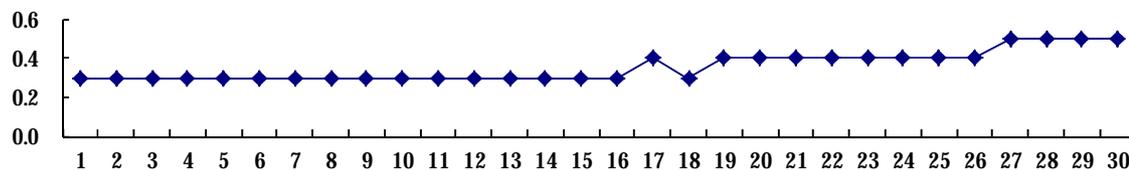
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.3	～	0.5	0.4
水温	[℃]	22.8	～	29.1	27.1
pH	[－]	7.6	～	8.4	7.9
COD	[mg/L]	3.9	～	4.3	4.1
DO	[mg/L]	8.3	～	10	9.1
特記事項					

水質様式第7号

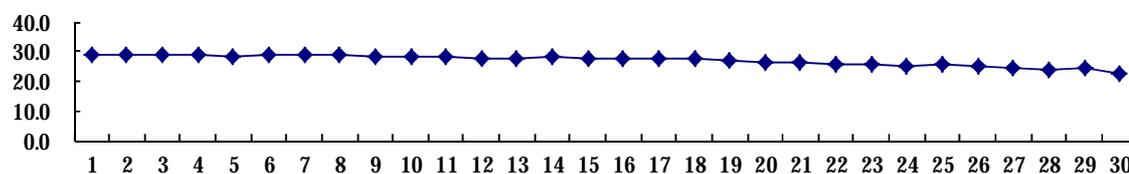
水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成 24 年 9 月分]

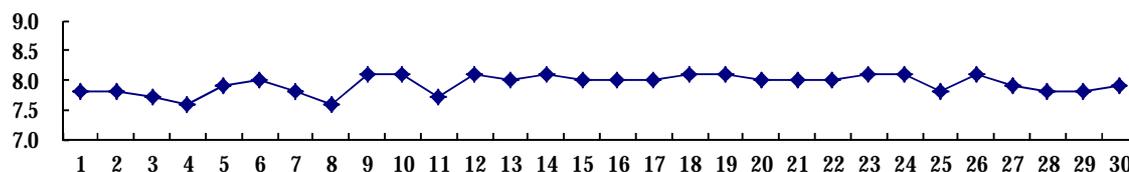
濁度[度(カリン)]



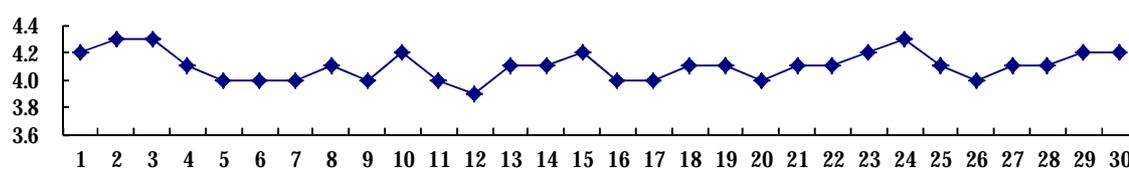
水温[℃]



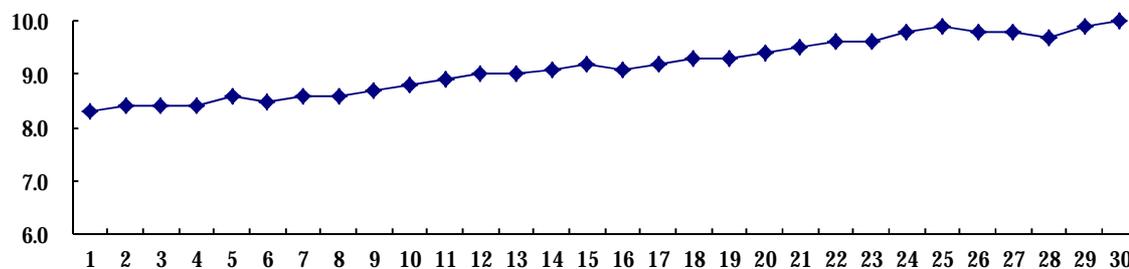
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L]



水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年9月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS	FSS	時刻	SS	FSS
		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
9/4 (火)	9:50	1.4	< 1	10:05	3.8	1.1
9/11 (火)	10:05	1.6	< 1	9:45	5.5	2.0
9/18 (火)	9:50	< 1	< 1	10:05	5.4	2.0
9/25 (火)	9:55	< 1	< 1	10:05	4.4	1.6
平均値	—	1.3	< 1	—	4.8	1.7
最小値	—	< 1	< 1	—	3.8	1.1
最大値	—	1.6	< 1	—	5.5	2.0

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年9月分]

調査日：平成24年9月4日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	9:50	10:05
pH[-]	7.7(26℃)	8.6(26℃)
COD[mg/L]	11	16
T-N[mg/L]	2.4	2.5

特記事項
